

# 農学ビジネス学科

## 環境農学コース

### 〈学習成果〉

新しい時代の農業を基盤とした地域経済を担うにふさわしい人材には、専門的・汎用的な学習成果（到達目標）が求められます。

#### 1. 専門的学習成果

- ◇ 環境保全型農業（クリーン農業）の実践に必要な基礎的な知識と技術
- ◇ 農業・農村・農業関連産業の未来を担うにふさわしい基礎的な知識と技術
- ◇ 現代社会における「食・農・環境」の重要性を幅広く捉える基礎的な力量

#### 2. 汎用的学習成果

- ◇ 農及び関連産業を通して社会に貢献出来る基礎力
- ◇ 職業生活に必要なコミュニケーション能力
- ◇ 職業生活や社会生活に必要な情報リテラシー
- ◇ 職業生活や社会生活に必要な自己管理能力と協調性

環境農学コースに配当されている授業科目は、基礎科目と専門科目に大別される。卒業資格を得るためには、別掲の授業科目配当表に従って2年間（留年した場合は4年以内）で所定の科目を履修し、その単位を取得しなければならない。

卒業資格を得るために必要な単位数および内訳に関する規定はきわめて厳格なものであって、1単位の不足があっても卒業できない。科目の履修に際してはその点を十分に注意すること。

科目の選択は、各人の将来に適合するものを選ぶことが必要で、その際、教員の指導を受けることが望ましい。

## 1. 教育課程

### (1) 基礎科目

基礎科目は、大学の教育目標である一般社会人としての広範な教養を身につけるための科目および専門を深めるための基礎をなす科目である。

基礎科目では、文章表現法、哲学、環境科学の6単位の他、農業基礎科学、作物栽培概論を含む6単位、合計12単位以上を取得しなければならない。

### (2) 専門科目

専門科目は必修科目、コース選択必修科目および選択科目に分かれる。

- ・必修科目およびコース選択必修科目は、別掲授業科目配当表にある全科目を履修しなければならない。
- ・選択科目は、各自の将来の希望にしたがって選択履修できるものであるから、自分の希望する授業科目を選択し、合計30単位以上を取得しなければならない。

## 2. 科目履修上の留意事項

### (1) 概要

本コースは、前期及び後期に学内圃場、実験室を利用した多くの演習、実習、実験が組み立てられ、知識を深めるための多くの講義が用意されている。1年次は基礎を、2年次にはより実践的な授業が展開される。

### (2) 組立科目

下の表のA欄の科目とB欄の科目はそれぞれ対をなしており、A欄の科目を基礎にB欄の科目が組み込まれている。したがってB欄の科目の単位を取得するためには、A欄の科目の単位を取得しなければならない。

A 欄	B 欄
総合英語 I	総合英語 II
総合英語 I・II	総合英語 III
総合英語 I・II・III	総合英語 IV
英語コミュニケーション I	英語コミュニケーション II
英語コミュニケーション I・II	英語コミュニケーション III
英語コミュニケーション I・II・III	英語コミュニケーション IV

A 欄	B 欄
水稲生産学	水稲実習
畑作物生産学	畑作実習
野菜生産学	野菜実習
花卉生産学	花卉実習
土壌管理学	土壌作物診断実習
農業機械学	農業機械研修
日本酒学	日本酒製造実習

### (3) 稲作経営専攻コース（北海道立農業大学校委託学生）

水稲生産学、水稲実習、農業機械学、農業機械研修、土壌管理学、卒論演習は、このコースの必修科目となっているので、必ず履修すること。

### 3. 進級基準および卒業単位

- (1) 1年次において、下記の表に定める進級最低単位数を取得できなかった者は、当該学年に留置とする。
- (2) 下記の表に定める卒業最低単位数を取得できなかった者は、卒業することができない。

#### 進級基準

区 分		単 位 数
基礎科目	必 修 科 目	6 単位
	選 択 科 目	4 単位
専門科目	必 修 科 目	1 2 単位
	コース選択必修科目	6 単位
	選 択 科 目	4 単位
合 計		3 2 単位

- 注) 1. 基礎科目選択科目単位 4 単位には、「農業基礎科学」2 単位、「作物栽培概論」2 単位を含む。  
2. 履修年次が 1・2 学年にまたがる「農業研修」の単位は進級基準に含まない。

#### 卒業最低単位

区 分		単 位 数
基礎科目	必 修 科 目	6 単位
	選 択 科 目	6 単位
専門科目	必 修 科 目	1 6 単位
	コース選択必修科目	8 単位
	選 択 科 目	3 0 単位
合 計		6 6 単位

- 注) 基礎科目選択科目単位 6 単位には、「農業基礎科学」2 単位、「作物栽培概論」2 単位を含む。

### 4. 「海外研修」科目の単位認定

海外における語学研修および諸活動などを対象に、「海外研修」科目単位を認定する。

本学及び拓殖大学主催の海外研修：

申 請 方 法：下記書類に必要事項を記入の上、学務学生課窓口へ提出すること。

①海外研修申請書

修了報告書の提出：研修終了後、下記書類を指定期間内に学務学生課窓口へ提出すること。

②修了報告書、③修了証明書（修了したことが証明できる書類）

単位認定の可否：申請期間修了後、単位認定に値するか否かを、掲示等で通知する。

上記以外の研修：

申 請 期 間：海外研修の 30 日前に担当教員に申し出ること。

申 請 方 法：下記書類に必要事項を記入の上、学務学生課窓口へ提出すること。

①海外研修申請書、②海外研修予定表、③海外研修計画書

④旅行会社パンフレット（コピー可）

修了報告書の提出：研修終了後、下記書類を指定期間内に学務学生課窓口へ提出すること。

⑤修了報告書、⑥修了証明書（修了したことが証明できる書類）

単位認定の可否：申請期間修了後、単位認定の対象に値するか否かを、掲示等で通知する。

研修終了後に、学科会議等において単位認定に値するか否かを審査する。

## 5. 授業内で取得できる資格

### (1) 全国大学実務教育協会の生活園芸士

本コースでは、実務教育の一つとして、全国大学実務教育協会が認定している「生活園芸士」の資格を取得することができる。資格を取得するためには、短期大学の卒業に必要な単位を取得し、全国大学実務教育協会所定の科目単位数を取得しなければならない。認定証の交付には手数料がかかる。

生活園芸士の課程開講授業科目

大学において、園芸に関する基礎的知識・技術と生活園芸に関わる周辺領域を体系的に学び、かつ本協会所定の要件を満たした者に付与する資格。

以下の4科目の単位を取得すること。

授業科目	単位数
作物栽培概論	2単位
農業基礎実験・実習	4単位
花卉生産学	2単位
花卉実習	2単位

以下の各領域から10単位以上取得すること。

	授業科目	単位数
領域1	施設園芸学	2単位
	野菜生産学	2単位
	病虫害管理学	2単位
	土壌管理学	2単位
領域2	グリーン・ツーリズム論	2単位
	環境科学	2単位
	食農社会論	2単位
領域3	野菜実習	2単位

### (2) 自然環境復元協会の環境再生医

本コースの学生は、自然環境などの環境再生や環境保全型の各種の取り組みを担う人材を認定する「環境再生医（初級）」の資格を取得することができる。

資格を取得するためには、自然環境復元協会が定めた科目を履修し、自然環境とその復元・再生を体系的に学んで、所定の単位数を取得しなければならない。必要な科目および単位数は、下記の7科目14単位である。また、認定証の交付には認定料が必要である。

環境再生医（初級）資格認定に必要な授業科目と単位数

授業科目	単位数
哲学	2単位
環境科学	2単位
農業基礎科学	2単位
食品・農産物流通論	2単位
国際農業論	2単位
グリーン・ツーリズム論	2単位
クリーン農業論	2単位

## 環境農学コース

### 基礎科目

授業科目	授業区分	開設単位	必修単位	選択単位	卒業最低 単位数	年次別展開				担当教員名
						1年		2年		
						前期	後期	前期	後期	
文章表現法	講義	2	2		<b>12</b>	●				畠山 佳幸
哲学	講義	2	2				●			橋本 信
日本国憲法	講義	2		2					●	小林 秀高
法学	講義	2		2					●	小林 秀高
環境科学	講義	2	2			●				田中 英彦
農業基礎科学	講義	2		2		●				田中 英彦
作物栽培概論	講義	2		2		●				岡田 佳菜子
生涯スポーツ演習	演習	2		2		●	●			長田 宏志
総合英語Ⅰ	演習	1		1		●				新発田 恵美子
総合英語Ⅱ	演習	1		1			●			新発田 恵美子
総合英語Ⅲ	演習	1		1				●		新発田 恵美子
総合英語Ⅳ	演習	1		1					●	新発田 恵美子
英語コミュニケーションⅠ	演習	1		1		●				本間 里美
英語コミュニケーションⅡ	演習	1		1			●			本間 里美
英語コミュニケーションⅢ	演習	1		1				●		本間 里美
英語コミュニケーションⅣ	演習	1		1					●	本間 里美
計		24	6	18	<b>12</b>					

注) 卒業最低単位数には、選択単位「農業基礎科学」2単位、「作物栽培概論」2単位を含む。

### 専門科目（必修科目）

授業科目	授業区分	開設単位	必修単位	選択単位	卒業最低 単位数	年次別展開				担当教員名
						1年		2年		
						前期	後期	前期	後期	
クリーン農業論	講義	2	2		<b>16</b>		●			田中 英彦
地域振興論	講義	2	2			●				工藤 遥
国際農業論	講義	2	2				●			村上 良一
キャリアスキル	演習	2	2			●	●			畠山・二木・小林(孝)・中
1年ゼミナール	演習	4	4			●	●			各専任教員
2年ゼミナール	演習	4	4					●	●	各専任教員
計		16	16		<b>16</b>					

### 専門科目（コース選択必修科目）

授業科目	授業区分	開設単位	必修単位	選択 必修 単位	卒業最低 単位数	年次別展開				担当教員名
						1年		2年		
						前期	後期	前期	後期	
コンピュータ概論	講義	2		2	<b>8</b>	●				松橋 祐美
農業基礎実験・実習	実習	4		4		●	●			岡田・上西・山黒 畠山・二木・藤田
農業研修	実習	2		2			●	●		二木 浩志・山黒 良寛
計		8		8	<b>8</b>					

専門科目（選択科目）

授業科目	授業区分	開設単位	必修単位	選択単位	卒業最低単位数	年次別展開				担当教員名	
						1年		2年			
						前期	後期	前期	後期		
水稲生産学	講義	2		2	※1 2			●		岡田 佳菜子	
畑作物生産学	講義	2		2				●		二木 浩志	
野菜生産学	講義	2		2	※2 2			●		山黒 良寛	
花卉生産学	講義	2		2				●		小林 孝夫	
水稲実習	実習	2		2				●	●	岡田 佳菜子	
畑作実習	実習	2		2				●	●	二木 浩志	
野菜実習	実習	2		2				●	●	上西 孝明・藤田 寿雄	
花卉実習	実習	2		2				●	●	小林 孝夫・藤田 寿雄	
施設園芸学	講義	2		2	30				●	小林 孝夫	
土壌管理学	講義	2		2		●					安積 大治
土壌作物診断実習	実習	2		2				●	●		小林 孝夫・中村 隆一
日本酒学	講義	2		2				●			専任教員・非常勤講師
日本酒製造実習	実習	1		1				●	●		田中 英彦 他
植物資源応用実習	実習	1		1				●	●		田中 英彦
病害虫管理学	講義	2		2				●			堀田 治邦
農業機械学	講義	2		2		●					上西 孝明
農業機械研修	実習	1		1		●		●			上西 孝明 (委託)
農産物利用学	講義	2		2				●			畠山 佳幸
農産加工実験	実習	2		2		●	●				畠山 佳幸
生物工学概論	講義	2		2				●			岩間 和人
作物栄養生理学	講義	2		2				●			岩間 和人
食農社会論	講義	2		2		●					村上 良一
グリーン・ツーリズム論	講義	2		2					●		村上 良一
食品・農産物流通論	講義	2		2					●		村上 良一
農業経営概論	講義	2		2				●			村上 良一
社会統計学	講義	2		2				●			小林 秀高
初級簿記	講義	2		2		●					本田 陽美子
キャリア技能Ⅰ (玉掛け技能)	講義	1		1		●	●	●	●		小林 孝夫 (委託)
キャリア技能Ⅱ (小型クレーン)	講義	1		1		●	●	●	●		小林 孝夫 (委託)
キャリア技能Ⅲ (フォークリフト)	講義	1		1		●	●	●	●		小林 孝夫 (委託)
キャリア技能Ⅳ (車両系建設機)	講義	1		1		●	●	●	●		小林 孝夫 (委託)
キャリア技能Ⅴ (食品衛生責任者)	講義	1		1		●	●	●	●		畠山 佳幸 (委託)
キャリア技能Ⅵ (ガス溶接技能)	講義	1		1		●	●	●	●		小林 孝夫 (委託)
キャリア技能Ⅶ (アーク溶接特別教育)	講義	1		1		●	●	●	●		小林 孝夫 (委託)
キャリア技能Ⅷ (ミュージカル)	演習	2		2		●	●				保育学科他専任教員
キャリア技能Ⅸ (ミュージカル)	演習	2		2				●	●		保育学科他専任教員
海外研修	実習	2		2		●	●	●	●		上西 孝明 (委託)
卒論演習	演習	2		2				●	●		各専任教員
計		66		66	30						

注) ※1、※2区分の単位数を含み30単位以上取得すること。

※2の実習科目の組立については、p.33を参照すること。

